

第4回 交通系 IC カードの普及・利便性拡大に向けた検討会

議 事 概 要

日時：平成27年6月22日（月）16：30～18：10

場所：中央合同庁舎3号館8F 観光庁国際会議室

【委員からの主なコメント】

<交通系 IC カード導入によるメリット>

- 利用者のメリットとしては、「不慣れな旅客」だけでなく、旅慣れているビジネス客等にとっても利便が高まるのではないかと。
- 交通事業者のメリットとしては、正確かつ確実な運賃収受や、前払いによる財務メリット、現金を取り扱わないことによる人的コストの効率化などがある。また、交通機関のみならず商業施設等での電子マネーの利用拡大など、今後の可能性についてもメリットに含めてよいのではないかと。
- 交通系 IC カードにより取得できる情報については、地域社会のみならず事業者にとっても「新たなビジネス」のチャンスとなり得る。さらには、その情報を活用して政策効果を測定できるという行政にとってのメリットもあるのではないかと。
- 「磁気式カードの発行廃止」は、コスト削減はもちろん、産業廃棄物の削減という環境面でのメリットもある。

<今後の方向性>

- 今後は、外国人旅行客を含めた域外旅客の利便性向上の観点から、「地域独自カード+10カードの片利用」と「10カードへの参加」を拡大していく方向で検討することが必要。
- そのうち、導入実績が少ない「地域独自カード+10カードの片利用」の拡大方策については、導入時のみでなく導入後も見据えて、持続的に運用していけるような仕組みにすることが重要。
- 検討会としては、「地域独自カード+10カードの片利用」と「10カードへの参加」のそれぞれについて、各地域が両方策の特性を勘案しつつ導入を検討することができるような材料を提示することが重要。

以 上